

愛知県生涯学習推進センター情報誌

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>

編集・発行/愛知県生涯学習推進センター（愛知県教育委員会生涯学習課）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（愛知県東大手庁舎2階） TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232



INDEX [目次]

- 特集 開港1周年を迎えた
「県営名古屋空港」……………1
- 講座・講習会、イベント情報……………3
- ボランティア活動紹介……………11
- ネットワーク機関紹介……………16
- 公民館活動紹介……………17
- 生涯学習推進センターより……………18

のんびり、ゆっくり、楽しめましょう ～長湫地域子ども教室

「長湫地域子ども教室」は、長久手町にあるゴジカラ村の雑木林の中に移築された、150年前の古民家で様々な生活体験ができる場です。のんびりした時間のなか、おくどさん（土とわらで作ったかまど）でご飯を炊いておむすびを握って食べたり、薪を割ってお風呂をたいたりしています。不便だけれど、色々な発見もあり、自分たちで考えたり工夫しながら楽しんでいます。

＝特集＝

開港1周年を迎えた「県営名古屋空港」

今回の特集は、開港して1周年を迎えた「県営名古屋空港」をご紹介します。ますます便利になっていく「県営名古屋空港」に今後も注目です。

県営名古屋空港は、愛知県が管理運営する、コムーター航空やビジネス機などの小型航空機の拠点となる新しいタイプの空港です。平成18年2月17日に開港1周年を迎え、ますます便利になった県営名古屋空港の魅力の一端をご紹介します。

コムーター航空の拠点

<便利な航空路線>

県営名古屋空港からは、50人乗りの小型ジェット旅客機が、帯広・秋田・山形・新潟・高知・松山・北九州・熊本・長崎の9都市と結んでいます。余裕のある発着枠を活かした日帰りの出張などに使えるダイヤが好評です。



【フィンガーコンコース】

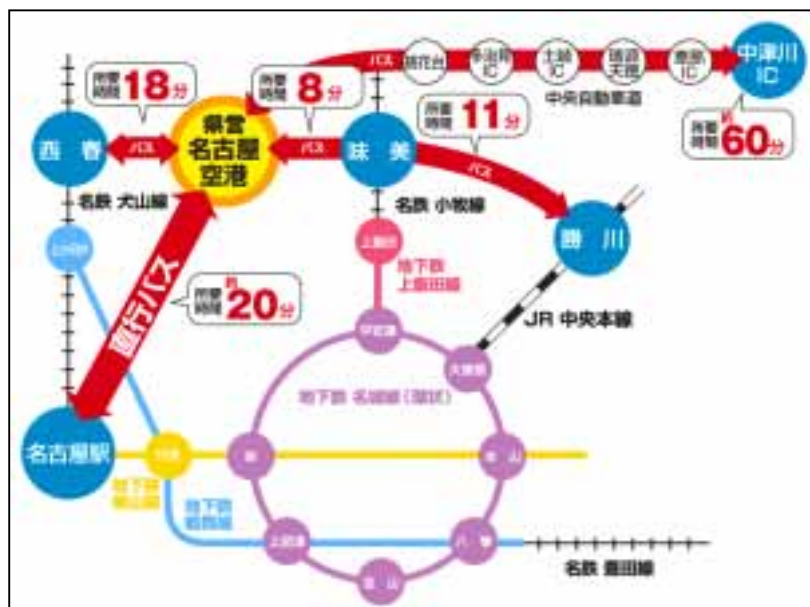
<特色あるターミナル施設>

多くの空港のターミナルでは、出発は2階、到着は1階となっていますが、県営名古屋空港では、出発と到着に必要な施設が全て1階にあり、上下移動をせずにスピーディーに旅客機の乗降ができます。これは、小型旅客機のドアが低い位置にあり、地上から乗降ができることによるものです。

また、ターミナルビルと旅客機の間には、屋根付き専用通路「フィンガーコンコース」を日本で初めて設けました。これにより、より安全で快適に旅客機の乗降ができるようになりました。

＜空港へのアクセスも快適＞

県営名古屋空港と名古屋駅とを約20分で結ぶ、直行バスが運行しています。このほか、JR勝川駅、名鉄味美駅、西春駅から路線バスが運行しています。また、岐阜県中津川市から中央道経由の空港バスも運行しており、この空港バスは県営名古屋空港と中部国際空港との間も結んでいます。



自家用車でのアクセスも、県営名古屋空港まで数分のところに名古屋高速道路のインターがあり、大変便利です。さらに、通勤客は空港駐車場を1週間まで無料で使うことができます。

バス乗降場や駐車場は、ターミナルビルの直近にあり、移動距離はわずかです。

『近くて便利な県営名古屋空港をビジネスやご旅行に、是非ご利用ください！』

国際ビジネス機受入れなどの取組み

県営名古屋空港では、国際ビジネス機の積極的な受入れを行っています。国際ビジネス機は、世界中で活躍している企業のトップビジネスマンなどが使用する専用機で、主に小型ジェット機が使用されています。ダイヤどおりに運航される定期便と違い、利用者の時間に合わせて運航されることからビジネスの効率性を向上させるなどの利点があり、グローバル化が進展する中、県営名古屋空港が国際ビジネス機を受入れることで、この地域の経済、文化における国際交流がさらに促進され、地域の発展が図られると期待しています。

また、県営名古屋空港は、警察、防災、救急医療、報道などの様々な分野で使われる小型航空機に利用されています。これからも県営名古屋空港をしっかりと活用し、暮らしの向上や経済の発展につなげていきたいと考えています。



＜県営名古屋空港に関する情報及びお問合せ先＞

愛知県企画振興部航空対策課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6131

e-mail: kouku@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kouku/nagoya/top/>

ボランティア活動紹介

今回も前号に引き続き、
西三河地区特集です。

やさしさと愛しい気持ちを持って

病院ボランティア「ゆうあいの会」は、平成7年4月に
ナイチンゲールに関連する「看護の日」に看護体験をさ
れた5名でスタートしました。「ゆうあいの会」の活動を自
主自立で運営していくことを中心に、会則、心得、受入
要綱が作成され、その精神が今日まで受け継がれていま
す。

主な活動内容は車椅子介助、場所案内、乳幼児預
かり、車椅子点検、整備などです。活動は、診療日（月
曜日～土曜日）の9時から11時30分まで毎日2～3名
で行い、奉仕、自主性、無報酬を基本理念としていま
す。

毎日の活動で気づいたことを活動日誌に書き、それ
をもとに冊子「車椅子」を発行しています。昨年は10周
年を記念して、3冊目となる記念号を発行しました。毎
月、定例会や勉強会も随時開催しています。また、病
院ボランティア委員会に出席し、利用者の視点から、会
員が気づいたことや困ったこと、話し合った結果などの
意見を提案しています。



「ゆうあいの会」入会者の年齢は、高校生から60
歳代と幅広く、現在会員は35名ですが、誰でも参加



できます。動機も「人の為に何かしたい」、「人とのかか
わりが大好き」、「生きがいに」という方などいろい
ろです。朝9時に、玄関でピンク色のエプロンをかけ（男
性も同色）、少しでも病む方々の力になりたいと念じて、
「おはようございます。」「何かお手伝いしましょうか。」と
明るく声かけをしてからスタートです。来院される方々との
出会いは緊張しますが、患者さんの「ありがとう」の一
言でホッとします。戸惑った時には、看護師さんに「大
丈夫よ」と支えられています。

いろいろと体験するということは、自分の可能性に気
づいたり、学ぶ機会だと思います。病院ボランティア
は、ほんの少しの「やさしさ」と「愛しい気持ち」があれば
誰でもできます。継続を力として自分の為に行動するこ
とではないでしょうか。

刈谷総合病院ボランティア
「ゆうあいの会」

代表者 : 柴田 和子
活動場所 : 刈谷総合病院
連絡先 : ゆうあいの会代表
TEL : 0566-21-2450

おしゃべりの輪を広げて行こう！！

午前10時、集まってくださった高齢者のみなさんに「おはようございます。はじめますヨ……」と鈴を鳴らします。今日は、月1回行われている「熊なでしこ会」の日です。文化展に向けての作品作りとお話し会を行います。まずは、牛乳パックを切って型を整えるのですが、子供のようなハサミの使い方は、見ていて怖く感じる場面があります。男性4名、女性15名の会員が指導しますが、話に夢中でなかなか作品作りに集中できない様子です。それでも、のりを貼る頃には夢中になって作業しています。その後、お茶を出してお話し会になると、みなさんに笑いも出て来ます。

「熊なでしこ会」は、刈谷市熊地区で2000年4月に、刈谷市で4番目に出来た地域ボランティアです。刈谷市社会福祉協議会より委託された「なごやか交流事業」として、茶話会や作品作り、体操、ゲームなどの企画を立て、各月のサロンの中にとり入れています。また、年3回は「なごやか交流会」で昼食作りをして、みなさんと食べたりもします。この会の対象者は独居高齢者なので、日々楚々とした食事をしているせいか、みなさんと一緒にの食事はとても喜んでくださいます。私達はその様子を感動しています。



活動の中で、どんなお話でも最後まで耳を貸してあげる事は大事なことです。大変な時もあります。しかし、頼ってくださるということは信用されているということなので、大切にしていきたいと思っています。外で出会った時には近況を聞き、「元気でネ」と言えば、「あなたもですよ」と返ってきます。お互いの日常会話の輪を広げていくもとなります。

また、ボランティア(奉仕)活動は、愛を持って楽しく行いたいと思っています。地域のみなさんと共に歩んでいこうと、古紙回収、市民館の草取り、文化展、防災訓練等にも参加しています。そして、ボランティアの意義拡大を図り、おしゃべりの輪をもっと広げていきたいと願っています。



会員同士の勉強会を持ち、もっと多くの独居高齢者の方々が遊びに来ることができるように、努力する必要があります。また、私共スタッフの仲間作りも大切な事です。いろいろと問題は山積みですが、話し合って一步一步前進していきたいと思っています。

熊なでしこ会

代表者 : 大霜 允子
活動場所 : 熊市民館
連絡先 : 自宅
TEL : 0566-23-2988

子どもたちと絵画を楽しんでいます

こんにちは。高浜市子ども絵画クラブです。私たちは、毎月第1土曜日に子どもたちと絵画の制作活動を行っています。文化協会洋画部に所属するボランティア指導者5人に、子どもが大好きという大学生2人を加えた7人のスタッフで、40人の子どもたちとにぎやかに活動しています。



私たちのクラブは平成14年度に発足し、現在で4年目となります。4年前におずおずとやってきた18人の子どもたち。大きな画用紙の片隅に小さな花を2つ3つ描くのが精一杯だった子どもたちが、今では画用紙いっぱいのにびのびと描けるようになり、人数も40人という大所帯になりました。

クラブの規模が大きくなるにつれ、スタッフにもいちだんと力が入り、子どもたちに芸術を楽しんでもらおうと色々なアイデアが湧いてきます。「せっかくなら子どもたちの作品を大勢の人に見てもらいたい」「公募展に応募し、力をためてはどうだろう」「地域の文化に触れる意味でも、陶芸にチャレンジしてみるのもおもしろい」「コラージュを専門にやっているスタッフがいるのだから、それもやってみたい」と、活発な話し合いが行われ

ています。その結果、たいへん多彩なプログラムができあがりました。教室を離れて写生に行ったり、陶芸やコラージュ作品を制作したりと、絵画の枠にとらわれず、毎回工夫を凝らした取り組みを行っています。子どもたちはのびのびと活動に参加しており、作品や制作風景も実にさまざま。子どもの個性が現れ、毎回新鮮な発見があります。そのおもしろさがスタッフのやる気の源となり、息の長いボランティア活動を支えています。最近では、公募展に進んで応募する子どもが増え、今年は初の受賞者も誕生しました。また、毎年3月には、1年間の活動の集大成として展覧会を開催しています。昨年度は、スタッフの手作り作品集を来場者に配布し、好評を博しました。



このクラブの活動内容が広まるにつれ、大勢の参加希望者があり、うれしい悲鳴をあげています。多くの子どもと芸術の楽しさを共有するために、スタッフ一同、今後とも力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

高浜市子ども絵画クラブ

代表者 : 岡本 司
活動場所 : 高浜市立翼小学校図工室
連絡先 : 高浜市役所まなび課
TEL : 0566-52-1111 (内線 361)

読書を通して生活に潤いを

昭和63年、額田町(現 岡崎市)に朗読ボランティア「かじか会」が誕生しました。私も誕生と同時に入会し、仲間にもしてもらいました。発足当時は8名だった会員もだんだんと増え、現在は20名を数えます。発足以来、毎月第2・4火曜日に学習会を設けています。講師を迎え、基本・応用・句読点にかかわる読み方等についての学習を18年間重ねてきました。随筆、小説、新聞等も教材としています。

「かじか会」ではこの学習を生かして、毎月発行の「広報ぬかた」、隔月発行の「ぬかた文化」、既刊「ぬかたの民話」等を分担して録音・編集し、寝たきりの方や視覚障害の方に届けてきました。また、私個人は町立の5ヶ所の保育園を年間各3回訪れ、「絵本・紙芝居のお話会」を13年続けています。近年では小・中学校、老人ホームへも仲間とともに出かけ、「読み聞かせの会」を実施しています。

以上のような読書誘発活動を称賛いただき、平成17年4月に社会貢献支援財団から「子ども読書推進奨励賞」をいただきました。感激です。一層「読み聞かせ」に励みたいと思います。

(※額田町は平成18年1月1日に岡崎市と合併しました)



星野 正明

活動場所：岡崎市内
連絡先：岡崎市ボランティア
連絡協議会
TEL：0564-21-5377

ボランティア活動紹介(子育てネットワーク編)

ネットワークと遊ぼう！



志村 貴子

活動場所：豊川市保健センター・図書館・
児童館など
連絡先：豊川市教育委員会生涯学習課
TEL：0533-89-2158

私たち豊川のネットワークは、各自の特技を活かし、「図書館や小・中学校で絵本の読み聞かせや紙芝居」、「警察で誘拐防止ボランティア」、「保健センターで乳幼児健診のお手伝い」、「児童館等での親子体操や親子遊び」など、あちこちで活動させて頂いています。

そして年に1〜2回、「絵本で子育てを」や「ネットワークと遊ぼう！」と題し、地元の親子さんをお呼びして、約1時間のプログラムの中にそれぞれの特技を組み合わせ、お楽しみ会を実施しています。

今年度は11月に他地域のネットワークさんもお呼びして、体育館に66組の親子と大騒ぎの楽しい会を実施しました。この会は私たちの「地域のおせっかいお婆さんになり、ちょっとした子育ての悩みを聞く立場になれたらよいね!」という志を達成する際に必要な知名度(知顔度!?)を上げるのに役立っています。

子育て中のパパママ、気軽に声を掛けてくださいね!

子育てサロン「エンゼル広場」

子育てネットワーク刈谷「エンゼル」です。県主催の子育てネットワーク養成講座を受講した修了生で、平成15年に発足しました。現在16名のワーカーで活動しています。

主な活動は、刈谷市のファミリー・サポート・センターからの依頼で、小山託児ルームにて毎月第3水曜日の午前10時から11時30分まで、子育てサロン「エンゼル広場」を開催しています。日常、子育てで疲れているお母さんたちに、ほっとしたひとときを味わってもらおう、そして子育ては大変だけれども、それ以上に楽しいものだとして再認識していただくためのお手伝いをさせてもらっています。

初めて参加される親子さんが緊張しないように、まず一緒におもちゃなどで遊びます。それから、親子で一緒に楽しめる絵本の読み聞かせや手遊びへとはいっていきます。そしてもう一度遊びます。すると、最初とは全く違う表情を見せてくれます。これは毎回感じることで



子どもがワーカーと慣れた後、お母さんたちの交流と子育てについての情報交換の場を設けます。これはお母さんたちのネットワーク作りにもなる場なのです。相談内容は「断乳ができない」、「指しゃぶりをどうしてもやめられない」、「しつけはいつからすればいいか」など、人それぞれ悩みはあるようです。その度に、みなさんから意見

を聞きます。先輩お母さんは「私はこんなふうにしてやめさせたよ」「気にしなくてもいいんじゃない」など。ワーカーも感じたことを話します。「断乳は母親があせると反対に乳を離さなくなります。あせらずに気長に。大きくなって乳をすっていると自分から恥ずかしい気持ちがでてきてやめますよ。」といいます。指しゃぶりやしつけについても、「時期がきたからやめさせなければいけない。しつけをしないといけないなんてないんですよ。」などとアドバイスをします。でも本当に必要なのは、悩みや相談の裏側にある『お母さんたちの気持ちをわかってあげること』に気をとめるように、心掛ける努力をしています。



刈谷市では、安心して子育てに取り組み、子どもたちが心も体も元気に成長できる環境の実現を目指しています。私たちワーカーも少しでもお役にたてればと思い、活動しています。

子育てネットワーク刈谷「エンゼル」

代表者 : 箕浦 ひろみ
活動場所 : 刈谷市小山託児ルーム
連絡先 : 刈谷市民ボランティア活動支援センター 私書箱 NO.4
TEL : 0566-62-8231

【かりや市民ボランティア活動情報サイト】

<http://www.genki365.com/kariya/>

自然と触れあおう！自然を感じとろう！～なごやネイチャーゲームの会～



【「ネイチャービンゴ」の真っ最中！】

代表： 里見

問合せ先： 052-803-5986

Mail: nagoyanature@yahoo.co.jp

ホームページ:

<http://nagoyanature.web.infoseek.co.jp/>

ネイチャーゲームは野外ゲームの総称ではなく、1979年にアメリカのナチュラリスト、ジョセフコーネル氏により発表された活動で、様々な感覚を使って自然を直接体験し、自然への共感を育む活動です。現在120種類以上の活動があります。

本会は、社団法人日本ネイチャーゲーム協会のリーダー養成講座を終了したネイチャーゲーム指導員によって構成されています。会員数は17名(平成18年1月現在)です。年5回、市民や親子を対象に、季節に合わせた自然との触れあいの場として、【季節の会】を開催しています(市内公園にて)。また、学校教育での「総合的な学習の時間」や社会教育での講座・催し物、野外教育や環境教育関係団体等からの依頼事業も多く行っています。知識を教えることよりも、自然との触れあい、わかちあいを大切にしていますので、【季節の会】へはどなたでも気軽にご参加いただけます。

【平成18年度予定】

春の会:4/16(日) 10:00～12:00 天白公園(名古屋市天白区)

新緑の会:5/7(日) 10:00～12:00 猪高緑地(名古屋市名東区)

夏の会:8/5(土) 18:30～20:30、秋の会:10/15(日) 10:00～12:00

冬の会:2/4(日) 10:00～12:00

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。
詳しくは愛知県生涯学習推進センター(電話 052-961-5333)にお問合せいただくか、ホームページ(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

「学びネットあいち」からのお知らせ

新たに追加！学習コンテンツのご紹介

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>

「学びネットあいち」では、インターネット上で学習できる学習教材(学習コンテンツ)を提供しています。学習コンテンツは、現在続々と追加中です。今回は、新しく追加された中から2つをご紹介します。



★「龍馬生誕170周年記念～日本を今一度せんたくいたし申候～」生涯学習イベントの日講演会

【主な内容】

今もなお、老若男女に愛されつづけている坂本龍馬について、現存する龍馬の手紙からいくつか紹介し、その時代背景や龍馬の考え、魅力などをわかりやすく説明していきます。

★「豊明のナガバノイシモチソウ」平成17年度地域開催講座

【主な内容】

湿地という限られた環境で生育し、開発の中かろうじて豊明に生き残った全国的にも珍しい「紅色のナガバノイシモチソウ」の変遷と生態・形態について触れ、食虫植物のもつ不思議さ、すばらしさについてお話しできたらと考えています。



～特色のある公民館活動を紹介～

市民団体との協働による公民館活動

安城市
昭林公民館

昭林公民館の概要

安城市には、中央公民館と10の地区公民館があります。昭林公民館は市内10番目の地区公民館として、平成8年に開館しました。市内の地区公民館では唯一音楽室やホールがあるのが特色で、音楽室ではバンドグループの練習、ホールではピアノ発表会などでよく利用されており、公民館事業としても地域の音楽活動団体を招いて「昭林コンサート」を開催しています。

公民館活動紹介

昭林公民館地区内にはアパート・マンションが多く、若い家族が多く住んでいることから、公民館としては子育て支援や親子・親同士・子ども同士のふれあいの場として利用していただきたいと考えています。そこで中央公民館と連携し、市民団体との協働により「こどもまちなみフェスタ」を平成15年度より開催しています。子育て支援活動をしている団体が集まり、子育て・親育ちについて地域住民に見て・聞いて・体験してもらっています。



【ほのぼのの広場】

また、フェスタの日常化を目指して平成17年度より週に2回、「ほのぼのの広場」を開催しています。こちらについても市民団体との協働で遊戯室に子育てスタッフを配置し、ふれあいの場・情報交換の場として毎回多くの方に利用していただいております。

今後も中央公民館との連携、また市民団体との協働により、「ふれあいの場」として公民館を利用いただけるよう努力してまいります。

誰でも気軽に立ち寄れる公民館

大府市
共長公民館

共長公民館の概要

当館は、共長地域をモデルコミュニティとして県の指定を受け、地区の拠点として昭和50年に開館しました。『気軽に立ち寄り・ふれあい・学び合う・調和のとれた魅力ある公民館』を基本理念に、利用者を増やしてきました。

JR共和駅から徒歩5分と、共長コミュニティの中心に位置し、非常に恵まれた環境にあります。ここを拠点に活動する団体も70団体と非常に多く、毎年5万人を超える多くの住民の方が、「地域の居場所」として公民館を自由に活用しています。

ふれあい学びあい

毎年、幼児教室や寿大学等、20余りの講座や行事を行っています。もっと多くの方に利用して頂く為に、新しい事業や地域交流に積極的に取り組んでいます。今年は、受講機会の少ないOLやビジネスマン層をターゲットに夜間講座を開催していきます。



【女性の為のカラー
コーディネート講座】

【中学生委員会】

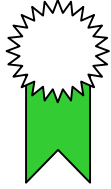


また、中学生委員会を設置して、太鼓や踊りの練習を公民館で毎夜行っています。中学生たちは地域の共長夏祭りや盆踊りなどに参加して、積極的に地域に飛び出しています。

今年は万博協会より、50インチのプラズマテレビとパラソル付きベンチの寄贈も有り、ますます目が離せない楽しい公民館になりそうです。

生涯学習推進センターからのお知らせ

平成17年度(第50回)愛知県自作視聴覚教材コンクール審査結果発表!



応募作品総数73点、その中から下記のとおり選出されました。その他の審査結果については、「学びネットあいち」をご覧ください。また、優秀作品については、「学びネットあいち」に公開する予定です。お楽しみに!

「学びネットあいち」 <http://www.manabi.pref.aichi.jp/>

■学校教育部門

【ビデオ教材】

最優秀賞・教育長賞

「究極のクリーンエネルギー燃料電池」

豊田市学習教材制作委員会ビデオ部会

【コンピュータソフトウェア・マルチメディア教材】

最優秀賞・教育長賞

「ストップ・ザ・火事 ～岡崎を火事から守れ～」

岡崎市視聴覚ライブラリー

自作教材制作委員会G班

■生涯学習部門

【ビデオ教材】

最優秀賞・教育長賞

「ご要望の音に～小さな太鼓屋のこだわり～」

岡崎市視聴覚ライブラリー

自作教材制作委員会C班

*過去の優秀作品については、こちらからご覧いただけます。

→<http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/gaido/sityoukaku/top.htm>



愛 知 県 生 涯 学 習 推 進 セ ン タ ー

開館時間

9:00～21:00

休館日

日曜・年末年始

電 話

052-961-5333

FAX

052-961-0232

ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>

メール

syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

交通案内

○地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約3分

○名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約4分

○基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約5分

駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。



文化のみち二葉館 (名古屋市旧川上貞奴邸)



【文化のみち二葉館全景】



【大広間】



【ステンドグラス】



【川上貞奴と福沢桃介】

ひととき目立つオレンジ色の洋風屋根、ステンドグラスの光がこぼれる大広間、そして落ち着いた伝統的な和室——東洋と西洋の文化が溶け合った大正ロマンの香り高い館が、文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)として、名古屋城から徳川園にいたる「文化のみち」の拠点施設として甦りました。

日本初の女優と謳われた川上貞奴と、電力王と称された福沢桃介が、大正から昭和初期にかけて暮らしていた邸宅を移築・復元し、貞奴の関連資料を展示するとともに、郷土ゆかりの文学資料の保存・展示を行っています。また、貞奴が居間として使っていた和室など三室が貸室としてご利用いただけます。

創建時から八十年以上の歳月を経た今、再び様々な人たちが出会い、交流し、新しい文化の芽生える場所にしていきたいと考えております。

大正浪漫の香り高いこの館にぜひお出かけ下さい。お待ちしております。

開館時間	午前10時～午後5時 (貸室は午後8時30分まで使用可能)
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)、12/29～1/3
入館料	大人200円(団体160円)、小人100円(団体50円) ◆未就学児童は無料 ◆団体は20名以上 ◆名古屋市敬老手帳・身体障害者手帳を提示された方は無料 (※4/1から一部料金が変わります)
貸室	午前(10:00～13:00) 午後(13:30～16:30) 夜間(17:30～20:30) 各600円
駐車場	10台 1回300円(30分以内は無料)
電話	052-936-3836
FAX	052-936-3836
Mail	sada@actio.co.jp
HP	http://www.futabakan.city.nagoya.jp/
住所	(〒461-0014) 名古屋市中区榑木町三丁目2番地



生涯学習のマスコット“マナビィ”